

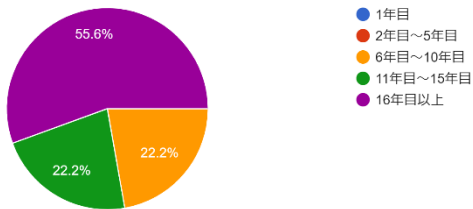
R5 学力向上講演会【7/20(木)実施】(講師:京都大学教育学研究科 特任教授 恩田徹 氏)

・学校の特色づくりとしての授業改善及びカリキュラム改善をテーマに、「高校におけるカリキュラム改善について一深く探究的に学ぶために「変えること」「捨てること」—という題目で講演会を実施しました。恩田先生ご自身の京都市立堀川高校での経験や事例を交えながら、ユーモアたっぷりに、探究学習について具体的にご教示いただきました。

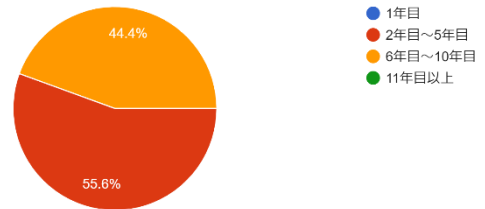


○ R5 学力向上講演会事後アンケート結果

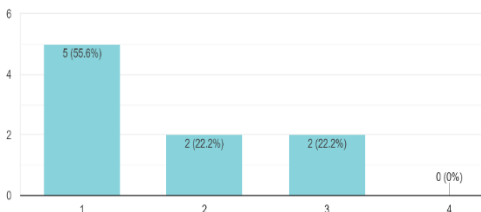
教職経験年数（臨時を含む）について、あてはまるものを1つ選んでください。
9件の回答



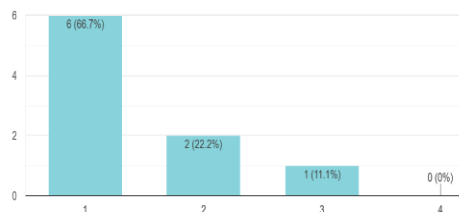
本校勤務年数について、あてはまるものを1つ選んでください。
9件の回答



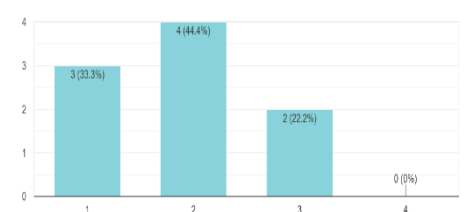
本日の研修会には意欲的に取り組みましたか。
9件の回答



本日の研修会はどのくらい有意義だと感じましたか。
9件の回答



本日の研修会を受けて、先生ご自身の今後の授業づくりへの意欲は高まりましたか。
9件の回答



【意見・感想】(一部抜粋)

- ・いつも他方面から講師さんを招いて研修会をしていただきありがとうございます
- ・大変示唆に富む講演で、探究学習についてのみならず、社会に通用する人材を育成するために高校(教員)としてできることについて考えさせられました。
- ・とても勉強になりました。探究活動が大切である、ということがよく理解できました。探究に関しては、現在担当されている年次の先生方が中心となって新たな方向性を考えていかれたらよいのではないのでしょうか。
- ・総合的な探求の時間の根幹的な内容の研修会で、現在の学力向上の方向性や明南スキルについて、よい方向に進んでいることの確認にもなりよかったですと思います。実績のある方の発言は説得力があるなども感じました。生徒への対応をはじめ、今後の総合的な探求の時間への取り組み方の道しるべ的な研修会であったと思います。